



思いがけない関係

したが、今年度はみんながアトリエで仕事をすることができるようになりました。一緒に空間にいる事はとても重要なポイントです。みんなと一緒に仕事をしている実感を持つ仲間が増えました。これにより、一つの班としての思いが深まって来ています。

「サンだいち班」は、仲間の半分が  
はれに異動したことや新たに3名の  
仲間が加わった事で、グループとし  
てはまったく異なる雰囲気となりま  
した。そのため、落ち着くまでに少  
しの時間が必要でしたが、思つてい  
たよりも早く落ち着く事ができまし  
た。いつものウエス仕事と変わらぬ  
人間関係が大きな要因だと思います。

環境であります。限られた空間の作業室であっても、ステンドの仕事はかけがえのないものであり、仕事に対する思いはぶれません。その思いが売り上げにもつながり、モチベーションもアップしているようです。今年はステンドの仕事はもちろんのこと、外出や楽しめる活動に積極的に取り組んでいます。「はれ」に異動したりと仲間に對して、心配したり、応援したりと仲間同士の関係が拡がっています。

環境の変化から見えた事

増えました。

ことは、5つの班が一緒になつて動する時間が増えたことです。今から牛乳パックの仕分けの作業をんなで行つたり、回収の手伝いの頼をしたりと他の班との交流が増しています。連携や協力が頻繁に行っている事は良い変化です。ま誰かの誕生日があると仲間、職員問わず、みんなで祝福することや節のイベントには装飾からみんな携わり、雰囲気を作るなど仕事以の場面でもみんなで楽しめる時間

大きな変化を受け入れるには大きなエネルギーが必要です。心の準備も必要ですし、時には不安で辛くなることもあります。大きな環境の変化に対して重要なことは、いつも一緒にいる仲間や職員の存在と自分がやるべき仕事がある事でし

ことは、5つの班が一緒になつて動する時間が増えたことです。今から牛乳パックの仕分けの作業をんなで行つたり、回収の手伝いの頼をしたりと他の班との交流が増しています。連携や協力が頻繁に行れている事は良い変化です。ま誰かの誕生日があると仲間、職員問わず、みんなで祝福することや節のイベントには装飾からみんな携わり、雰囲気を作るなど仕事以の場面でもみんなで楽しめる時間増えました。

サンライズ

仲間もあり、見通しと期待の持てる生活に繋がっています。

オレンヂホーム

12月に入り冷え込んだ日も出てきた今日この頃。オレンヂホームでも師走の忙しさの中、住人会議にクリスマス会、大掃除と色々ありました。残念な事に、居室の大掃除は年始に持ち越している所もありますが、一年を締め括る一か月になりました。

シャイン

育てたさつま芋が沢山獲れ、12月の暖かい日に焼き芋を作りました。子ども達はさつま芋を新聞紙で包み、焚火の中へ。焼き芋は骨食と一緒に頂きました。お芋はねつどり、ほくほくしてとても美味しく普段食が細い子もいつも以上に食べていました。

おひさま通信

## 新体制になってからの 仲間たちの様子

2019年4月、みんなの願いや  
要求が形となり、念願であつた入所  
施設「はれ」が開所しました。川口  
太陽の家からも多くの中間と職員が  
異動し、新しい暮らしの場での生活  
が始まる事になりました。「はれ」が  
開所するにあたり、2つの大きな変  
化がありました。1つ目は、沢山の  
仲間や職員がはれに異動すること、  
2つ目は、アトリエ輪で活動してい  
た「きらつと班」が活動の場を川口  
太陽の家へと移すことでした。仲間  
にとつては激変の年です。

想定外の出来事

今年度の川口太陽の家は新たに4名の仲間を迎えてスタートしました。川口太陽の家の4つの班と工房集で活動する「めーべ班」の合計5つの班で構成される事になりました。これまでとは違う1年が始まる事は理



## 今年度の各班の特徴

今年度の「じゅうに班」は1つの作業室を軸に仕事をしています。1つの場所になつたことで、作業室での仲間の動線がシンプルで、仕事がしやすくなりました。空間を認知しやすくなつたようです。また、集団の中心的な仲間が「はれ」に異動したことにより、仲間どうしでのやりとりが増えました。自分たちがやらなければという思いから、色々な仲間が主体的に盛り上げてくれる機会が増えました。同期の絆が生まれ友達としての関係が昨年より強くなつたようです。

「あおぞら班」は、唯一、昨年より仲間の人数が増えた班です。手狭な作業室でしたが、今年はより厳しい

大宮太陽の家

今年度は仲間からの希望もあり、11月27・28日に那須へ一泊旅行に行つてきました。普段、みんなで食事をすることや行動することがあまりないので、様々な関わりを持つことが出来て良い機会になつたようです。

響  
き

解しているものの、仲間たちも何気なく、元気がなかつたり、誰かを探しているような様子であつたり何だか気持ちが落ち着かないような印象でした。仲間にとつては、今まで一緒に過ごしていた仲間や職員がない事は予想以上に大きなダメージだったようです。異動することで大きな変化には事前には様々な配慮をしてきましたが、その後のアフターケアについては十分ではなかつたの

初めてのクリスマス会を行いました。食堂に仲間全員が集まりました。ワイワイとした賑やかな雰囲気になりました。クリスマスソングを聴きながら嬉しそうに楽しく体を揺らす仲間我こそは！とマイクを持つ仲間メインのプレゼント交換では、それぞれ手元に来たプレゼントをみんな良い表情で袋から取り出す姿が見られました。はれでの思い出がまた一つ増えました。